



平成 29 年 2 月 7 日

各 位

会 社 名 J Xホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 内田 幸雄
コード番号 5 0 2 0 東証・名証第 1 部
問合せ先 財務 I R 部 I R グループ マネージャー
日暮 達也
(電話番号 03-6257-7075)

平成 29 年 3 月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向を踏まえ、平成 28 年 11 月 8 日に公表した平成 29 年 3 月期通期連結業績予想について、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期 通期連結業績予想数値の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成 28 年 11 月 8 日発表)	8,000,000	190,000	230,000	100,000	40 円 22 銭
今回修正予想(B)	8,130,000	270,000	300,000	150,000	60 円 33 銭
増 減 額 (B - A)	130,000	80,000	70,000	50,000	20 円 11 銭
増 減 率	1.6%	42.1%	30.4%	50.0%	50.0%
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 3 月期)	8,737,818	△62,234	△8,608	△278,510	△112 円 01 銭

2. 修正の理由

売上高は、原油価格の上昇等により、前回予想（平成 28 年 11 月 8 日発表）を上回る見通しです。

また、原油価格の上昇に伴い、在庫影響による利益が増加したことを主因として、営業利益は前回予想比 800 億円増益の 2,700 億円、経常利益は前回予想比 700 億円増益の 3,000 億円となる見通しです。

なお、在庫影響を除いた経常利益相当額は、原油価格上昇やコスト削減等による石油・天然ガス開発部門の増益等により、前回予想比 100 億円増益の 1,900 億円となる見通しです。

上記により、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想比 500 億円増益の 1,500 億円となる見通しです。

〔在庫影響（※）〕

（単位：億円）

	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B - A)
在庫影響	500	1,100	600
在庫影響を除いた営業利益相当額	1,400	1,600	200
在庫影響を除いた経常利益相当額	1,800	1,900	100

※総平均法及び簿価切り下げによるたな卸資産の評価が売上原価に与える影響

なお、平成 29 年 3 月期の期末配当金の予想につきましては、前回予想を変更せず、1 株あたり 8 円といたします。（1 株あたり年間配当金は 16 円）

本見通しは、通期平均で原油価格（ドバイ原油）；バーレル当たり 46 ドル（1 - 3 月前提 50 ドル）、銅の国際価格（LME 価格）；ポンド当たり 230 セント（1 - 3 月前提 250 セント）、円の対米ドル相場；108 円（1 - 3 月前提 110 円）を前提としております。（前回予想：原油価格；バーレル当たり 44 ドル、銅の国際価格；ポンド当たり 213 セント、円の対米ドル相場；105 円）

（注） 本資料には、将来見通しに関する記述が含まれていますが、実際の結果は、様々な要因により、これらの記述と大きく異なる可能性があります。かかる要因としては、（1）マクロ経済の状況又はエネルギー・資源・素材業界における競争環境の変化、（2）法律の改正や規制の強化、（3）訴訟等のリスクなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

以 上